

学校法人 兵庫医科大学

広報



兵庫医科大学



兵庫医療大学

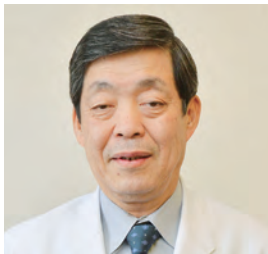
2017年4月号

vol. 238

院長就任挨拶

研究特集

兵庫医科大学 研究最前線！



兵庫医科大学 ささやま医療センター 病院長

片山 覚 Satoru Katayama

新任

私は昭和54年に兵庫医科大学を卒業後、兵庫県養成医師として公立八鹿病院、美方町立国保大谷診療所(現 香美町小代診療所)などで地域医療を経験し、平成22年6月から約7年間、柏原赤十字病院の院長として「地域の身近な医療の提供」と「地域医療を担う人材育成の病院づくり」に携わって参りました。医師のキャリアパスは大きく変化しており、地域偏在や高齢社会に対応できる医師養成が喫緊の課題となっている中で、ささやま医療センターではこうした課題に取り組むための素晴らしい準備がなされていますので、地域での経験を活かしていきたいと考えております。

具体的にはまず、医師会をはじめ他職種・他施設との連携などによって「地域包括ケアに関する先進的な取り組み」を進め、医師が学べる環境を整備します。また、今後医師には専門的な病気の治療だけでなく全人的な医療が求められますので、「プライマリ・ケアの実践と研修」には力を入れていく考えです。篠山キャンパスでは兵庫医科大学・兵庫医療大学の学生が多く学んでおり、地域総合医療学や機能再生医療学、地域救急医療学など地域医療のための講座も設置していますので、ピロリ検診の実施やフレイルのコホート調査など、診療のみではなく研究にも注力することです。サーチャインドをもったプライマリ・ケア医を養成していきます。

最後に、身近な医療の主役は住民と医師会の先生方であり、行政との連携も重要です。皆様のご理解とご支援をいただきながら進めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学 健康医学クリニック 院長

末廣 謙 Akira Suehiro

新任

このたび、兵庫医科大学健康医学クリニック院長を拝命し、4月1日より着任いたしました。本クリニックは病気の予防をめざす施設ですが、問題点も多々あり今後の発展を期した取り組みが必要です。私自身、発生した病気に対して最新の治療を施すことより、病気の発生自体を抑止することの方がはるかに重要であると考えます。言い換えれば、予防医学こそ最先端の医療と考えております。よく早期発見・早期治療と言われますが、病気を早期に発見する時には何らかの異常が身体に存在している状態であり、可能なら早期発見が必要な発病の素因を検出することこそ究極の予防と思います。もちろん、すぐに可能なことではありませんが、これをめざして尽力していきたいと考えます。関係各位にはご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学病院 病院長

難波 光義 Mitsuyoshi Namba

再任

このたび、病院長2期目を務めさせていただくことになりました。申すまでもなく、本院は良き医療者を育成する医育機関であるとともに、特定機能病院の指定を受けており、医学教育・研究・診療のすべてにおいて、高い倫理性の担保が求められています。個人情報保護やキャンパス内禁煙など、今日の社会において重視されていることを遵守するべく、組織の先頭に立って注力していく所存です。

また、地域中核病院として、地域の皆様に対してより安全・快適に先進医療を提供するために、引き続き努力してまいります。今後とも、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

学校法人 兵庫医科大学

広報

vol.238/2017年4月号

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

INDEX 目次

院長就任挨拶 …1

研究特集

兵庫医科大学 研究最前線！ …3

I Campus News …6

- ・第12回 レクチャーシップ「知の創造」を開催
- ・日本の医療や文化を学ぶ留学プログラムを実施
- ・男女共同参画を推進するため「女性医師支援プロジェクト」を始動
- ・兵庫医科大学病院が「平成28年度西宮市教育功労者」に
- ・「平成28年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を举行
- ・「平成28年度退職記念講演会」を開催
- ・創立以来40回目となる「兵庫医科大学卒業式」を举行
- ・「平成28年度 兵庫医療大学 学位授与式」を举行
- ・「3学部合同 1日体験入学」を開催
- ・患者さんを包括的に支援する「医療支援センター」を開設
- ・平成29年度以降も、現行の土曜・祝日の診療体制を継続
- ・「炎症性腸疾患」の手術数が3,000例に到達
- ・従来の2部署を統合して「医療人育成研修センター」を新設
- ・看護師の医療行為の幅を広げる特定行為研修課程を開講
- ・「平成29年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式」を举行
- ・「平成29年度 兵庫医療大学入学式」を举行

II 各種報告 …12

<兵庫医科大学><兵庫医療大学>
平成28年度 国家試験結果／平成28年度 卒業生進路実績／平成29年度 入学試験結果

III 卒業生の今 …15

大学教員として診療、教育、研究に携わる
鎌田 紀子さん（平成10年3月卒業）

IV 平成29年度 学校法人兵庫医科大学 事業計画・部門計画／予算 …17

V The Professional ザ・プロフェッショナル …19

医科と歯科をつなぐ ～オーラルマネジメントの重要性～
兵庫医科大学病院 歯科口腔外科 主任教授 岸本 裕充

VI 気になる授業 …20

兵庫医科大学「医学部へようこそ」「医学概論入門(アカデミックリテラシー教育科目)」／兵庫医療大学「アカデミックリテラシー」

VII 人事情報・就任挨拶／評議員の異動／助成金状況 …21

VIII 兵医・萌えの会 状況報告／新教育研究棟建設事業募金 状況報告 …25

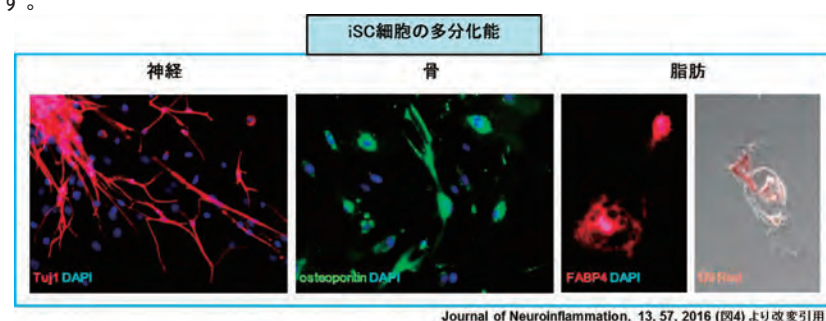
IX 主な行事予定／お知らせ(5～7月) …26

兵庫医科大学 研究最前線！

学校法人兵庫医科大学では、独自性の高い、先進的な研究活動を行っています。
直近でマスメディアにも取り上げられた、社会の関心が高い兵庫医科大学の3つの研究についてご紹介します。

1 多能性をもつ「iSC“細胞”」の実用化に向けた研究

兵庫医科大学は、多能性細胞「iSC“細胞”」を使って、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) や各製薬会社との共同研究を行っています。



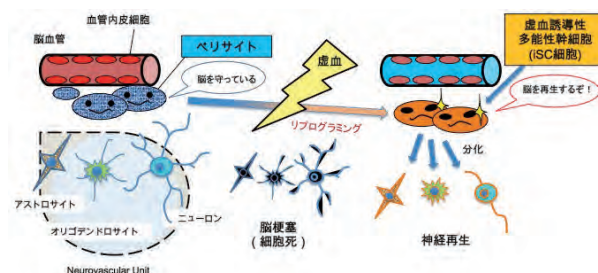
Journal of Neuroinflammation, 13, 57, 2016 (図4) より改変引用

iSC細胞とは

虚血誘導性多能性幹細胞:iSCs(ischemia-induced multipotent stem cells)の略。脳血管が閉塞し脳神経組織を養うために必要な血液が不足すると脳機能が傷害され、脳神経細胞は死に至る。しかし障害された脳神経組織の中に神経幹細胞としての性格を有する「iSC細胞」が生み出されていることを、兵庫医科大学 先端医学研究所 神経再生研究部門 教授の松山知弘と准教授の中込隆之らが中心になって平成27年に発見した。

この幹細胞は神経系の細胞をはじめ、免疫を司る細胞や血管、骨など、多くの細胞や組織を作り出せるものであるが、傷害を受けて自然に発生する細胞であることから、がんになったり奇形腫をもたらしたりする可能性は低い。iSC細胞が作り出す新たな細胞や組織を移植することで、脳に限らず、傷害により失われた組織やその機能を再び甦らせることができる可能性を持っている。

このiSCが実際にヒト脳梗塞組織にも存在することが、2017年3月にStem Cells and Development誌に掲載された。



AMEDの研究

【研究期間】

平成28年11月15日～平成31年3月31日

【テーマ】

ヒト脳傷害誘導性神経幹細胞を用いた神経再生療法

【責任者】

兵庫医科大学 脳神経外科学 助教 高木俊範

【背景】

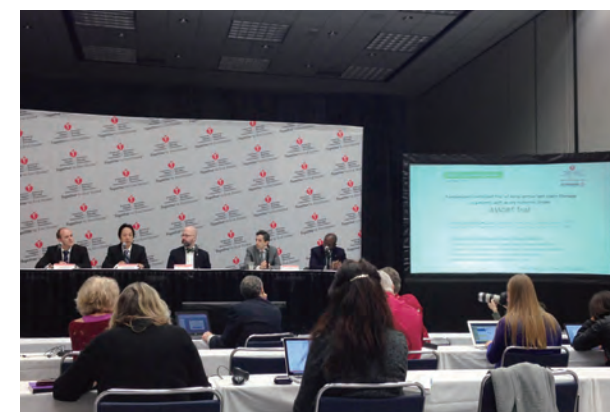
現在の脳梗塞患者に対する有効な治療法は、血栓溶解療法や血管内治療などの「血管再開通療法」であるが、この治療を受けた患者さんであっても脳神経機能の回復は半数以下に留まる。また脳梗塞の患者さんの大多数にはこの治療ができず、後遺症を抱える結果となっている。脳神経機能の回復に関する治療として、脳組織外に由来するiPS細胞・骨髄単核球細胞・間葉系幹細胞などを用いた臨床試験や研究が進められているが、患者さんの治療選択肢を増やすためにも、脳組織内に由来するiSC細胞を用いた治療の確立が必要である。

【目的】

神経再生や機能的神経網再建において実験的に優れた内因性幹細胞である「iSC細胞」を、臨床で実用するための課題を解決し、近未来の細胞治療の新たな選択肢として提供することをめざす。

2 脂質異常症を伴う急性期脳梗塞患者に対するスタチンの急性期投与の意義を解明

兵庫医科大学 脳神経外科学講座 吉村 紳一主任教授、臨床疫学講座 森本 剛教授らの研究グループは、脳梗塞発症からスタチン投与開始までの経過時間は3ヵ月後の予後(自立度)と関連が無いことを世界に先駆けて報告しました。なお、本研究に関しては、アメリカで開催された国際脳卒中学会のLate breakingセッションにて発表しました。



国際脳卒中学会の様子（米・ヒューストン）

◆本研究のポイント

脳梗塞治療の優先順位に関する世界的な指針を示し、患者さんに適切な治療をもたらすことができます。

研究の概要

【背景】

WHOによると全世界で毎年約600万人が脳卒中で命を落としていることから、脳梗塞などの脳卒中に対する統一した治療手順の確立が必要とされている。今回の臨床試験に使用した高コレステロール血症治療薬である「スタチン」は、脳梗塞の再発予防に効果があることは分かっていたが、脳梗塞の発症直後に投与することで3ヵ月後の予後(自立度)が改善されるかどうかについては、いまだ十分なデータがない。このため、医療機関によってスタチンの治療開始時期にばらつきが生じていた。

【研究目的】

脳梗塞を発症してから24時間以内にスタチンを投与することで、患者の予後(自立度)を改善できるかについて研究する。

【対象】

2015年9月1日～2016年8月31日の期間に、研究参加施設(兵庫医科大学病院及び関連10施設)に急性期脳梗塞で入院した20歳以上の患者270人を対象とした。

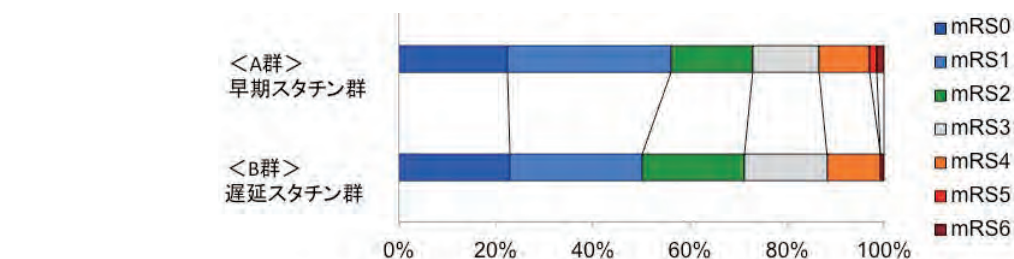
【方法】

脳梗塞発症から24時間以内にスタチン投与を開始する群(A群)と、発症7日後に投与を開始する群(B群)にランダムに分け、経口投与を実施。発症から3ヵ月後の予後(自立度)を評価した。

【結果】

比較軽度の脳梗塞患者においては、発症直後からスタチン投与までの経過時間は予後(自立度)と関連がなかった。

図. 24時間以内にスタチン投与を開始する群(A群)と発症7日後に投与を開始する群(B群)のまひの程度の関係



	90日後 mRS	0	1	2	3	4	5	6	p値
早期スタチン群(125例)	例 (%)	28 (21.4)	42 (32.1)	21 (16.0)	17 (13.0)	13 (9.9)	2 (1.5)	2 (1.5)	0.70
遅延スタチン群(118例)	例 (%)	27 (21.4)	32 (25.4)	25 (19.8)	20 (15.9)	13 (10.3)	0 (0)	1 (0.8)	

Cochran-Mantel-Haenszel analysis
adjusted common OR=0.84 (95% CI 0.53-1.3, p=0.46)

【mRS】

- 0・・・まったく症候がない
- 1・・・症候はあっても明らかな障害はない(日常の勤めや活動は行える)
- 2・・・軽度の障害(発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の周りのことは介助なしに行える)
- 3・・・中等度の障害(何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える)
- 4・・・中等度から重度の障害(歩行や身体的要求には介助が必要である)
- 5・・・重度の障害(寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする)
- 6・・・死亡

3 ～睡眠障害と肥満・糖尿病発症の新たな道筋～ “睡眠の質”が甲状腺刺激ホルモンの構造に影響を及ぼすことが判明

-HSCAA研究-

兵庫医科大学 内科学(糖尿病・内分泌・代謝科)講座 角谷 学助教、小山 英則主任教授らの研究グループは、睡眠の質が甲状腺刺激ホルモン(以下、TSH)の構造に影響を及ぼすことを発見し、2017年3月13日英国科学雑誌Natureグループの「Scientific Reports」電子版に論文が掲載されました。

本発見により、睡眠障害と肥満・糖尿病など生活習慣病をつなぐ一つの道筋が明らかになり、新しい薬の開発にも結びつくことが見込まれます。



助教 角谷 学



主任教授 小山 英則

Keyword: 「マクロTSH」

TSHが免疫グロブリンIgEと結合してできた大分子のこと。マクロTSH血症は「潜在性高TSH血症」を引き起こす原因。

HSCAA研究とは
HSCAA:Hyogo Sleep Cardio-Autonomic Atherosclerosis Study の略。睡眠、疲労、自律神経機能などの精神社会的因子が、動脈硬化、糖尿病、メタボリックシンドローム、慢性腎臓病などの発症にどのように関与しているかを明らかにすることを目的に、2010年12月より兵庫医科大学にて行っているコホート研究。2017年3月現在、1,200名以上の患者さんを対象として、一人平均2.5年追跡中。

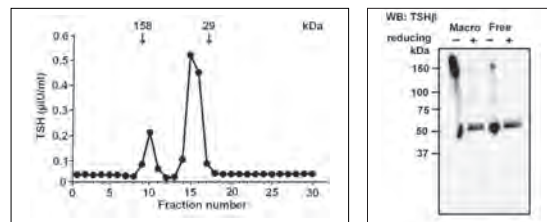
研究の概要

【背景】

ヒトのTSHの制御に、TRH以外の脳機能や、種々の臨床因子がかかわる可能性はほとんど知られていなかった。また、稀な疾患として、免疫グロブリンと結合した血清TSHが代謝を受けずに高濃度で血中に滞留する「マクロTSH血症」が知られていたが、一般患者の血清TSH値に免疫グロブリンが結合したマクロTSH分画が含まれることは、全く想定されていなかった。

【研究方法と結果】

HSCAAコホート研究における登録患者のうち、甲状腺疾患を有しない314名の患者の血清TSHを解析。対象の血清TSH値が正常範囲にあるにもかかわらず、ほとんどの患者のTSHの60～90%が血清蛋白と結合したマクロTSHとして存在していた。ゲル濾過法により、血清TSHはマクロTSHとフリーTSHの2分画に溶出され、ポリアクリルアミド電気泳動、レクチン親和性カラムクロマトグラフィーなどの解析により、マクロTSHは、糖鎖構造の異なったTSHが免疫グロブリンと結合した状態であることが示された。さらに、このマクロTSHの高値は、アクティグラフで評価した睡眠の効率や睡眠の質の悪化の指標と有意な関連を示した。



本研究のポイント

これまでマクロTSH血症患者にしか無いと思われていた「マクロTSH」が、一般患者の血清にも多く含まれていることが分かった。

「マクロTSH」が睡眠の質と深く関連していることが分かった。

「マクロTSH」を多く有している患者は、肥満、脂質異常症、糖尿病の有病率が高いことが分かった。

「マクロTSH」はフリーのTSHと比べて糖鎖構造が大きく異なることが判明した。

今後の期待

甲状腺疾患の評価において、マクロTSHの血中含有率を考慮する必要性が生じる。

マクロTSH値が、今後、睡眠障害のバイオマーカーとなる可能性がある。

マクロTSHの値によって、将来の糖尿病などの発症リスクを未病の段階で予測できる可能性ができた。

マクロTSHの生成にかかわるTSHの糖鎖調節機序を解明することにより、睡眠障害の新しい標的因子を同定できる可能性があり、創薬などの新しい治療標的の提示に繋がる。

上記の理由により、睡眠障害がTSHの糖鎖構造の変化など神経内分泌恒常性に影響し、肥満・糖尿病などの生活習慣病の発症や進展につながる新しい道筋を提唱したと言えます。

このほかにも複数の研究発表を行っています。下記研究の詳細は、ホームページをご覧ください。

- 「悪性中皮腫の腫瘍を増大させる新たな原因物質を特定」(兵庫医科大学 環境予防医学 助教 江口 良二)
http://www.hyo-med.ac.jp/research_facilities/output/gyoseki/20170302-01.html
- 「加齢黄斑変性に対する自己iPS細胞由来網膜色素上皮シート移植を安全に実施できることを確認」(兵庫医科大学 医療統計学 教授 大門 貴志)
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/news_releases/topics/20170329-01.html

Campus News



第12回 レクチャーシップ「知の創造」を開催

平成29年1月23日、平成記念会館にてレクチャーシップ「知の創造」を開催しました。今年は、大阪大学大学院生命機能研究科 時空生物学講座 教授 近藤 滋 先生を招き「科学研究における冒険的要素について」というタイトルにて講演を行っていただきました。

学部・大学院生、教職員など約520名が参加し、ユーモアを交えながらの講義に聞き入りました。講演会後には活発な質疑応答が行われるなど、今後の研究のモチベーションを高める大変貴重な機会となりました。



～今年も豪・アデレード大学から看護学部生が来日～ 日本の医療や文化を学ぶ留学プログラムを実施

平成29年2月20日から3月10日までの19日間、オーストラリアのアデレード大学 看護学部生10名が来日し、学術交換留学プログラムに参加しました。本プログラムは、兵庫医療大学とアデレード大学が結んだ学術交流協定により学生が交換留学を行うもので、今年で3年目を迎えました。

兵庫医療大学の学生は毎年8月にアデレード大学へ留学するなど、交流を深めています。

留学生たちは約3週間の留学期間のなかで、兵庫医療大学の各学部教員による日本の医療制度などの講義や兵庫医科大学病院での見学実習など、日本の医療現場を体験するプログラムに取り組みました。

また、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を訪れたり、広島で平和について学ぶ校外学習にも参加。最終日には、留学生全員で今回学んだ日本の医療・文化などについて、覚えたばかりの日本語で一生涯発表し、留学が有意義であった旨の感想を述べました。



Welcome Party♪



神戸市街地を散策



高機能患者シミュレータを体験



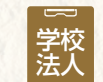
兵庫医科大学病院で行った見学実習



浴衣での寝衣交換に挑戦



在学生や教職員と交流を深めた3週間でした



男女共同参画を推進するため 「女性医師支援プロジェクト」を始動

平成29年2月27日、女性医師支援プロジェクトチームのキックオフ企画として、先駆的に男女共同参画の分野でご活躍されてきた(公財)田附興風会医学研究所北野病院の武曾恵理先生をお迎えし、「医師の働き方変革と豊かなキャリアパス実現」をテーマにしたFD講演会を開催しました。武曾先生は、北野病院での男女共同参画委員会の設立や働きやすい病院づくりへの取り組みについて話され、参加者は熱心に聴講しました。教職員をはじめ医師・研修医なども多く参加し、「将来に向け大変励みになった」「病院が一丸となった取り組みに感銘を受けた」といった声が聞かれました。



■1/19(木)

兵庫医療大学M棟3階と兵庫医科大学病院急性医療総合センターに、災害発生時に無償で飲料を提供できる自動販売機を計7台設置しました。



■1/21(土)

医療人育成センター主催で「気管・口腔吸引講習会」を開催。連携病院の会のリハビリ関連職種の方を中心に45名が受講されました。





～30年間続けてきた「特別支援学級」が認められての表彰～ 兵庫医科大学病院が「平成28年度西宮市教育功労者」に

平成29年2月22日、兵庫医科大学病院は、西宮市において教育の振興・発展に顕著な功績があった人物や団体に贈られる「平成28年度 西宮市教育功労者」の表彰を西宮市教育委員会より受けました。

これは、昭和61年4月から、病弱・身体虚弱な入院中の児童・生徒のための「特別支援学級」を院内に設置し、30年以上にわたって教育支援を行ってきた功績が認められたものです。

今後も兵庫医科大学病院では、特別支援学級の運営などを通じて児童・生徒への教育を支援していきます。



1号館6階にある特別支援学級の教室



病院長が小児科病棟職員に表彰を報告



「平成28年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を挙行

平成29年3月4日、3-3講義室において「平成28年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を挙行了しました。

白衣授与式は、これから臨床実習を開始する4年次生に対し、医師への心構えを持ってもらう重要な式典です。各教授が校章と氏名の刺繍された白衣を学生一人ひとりに着せ掛け、激励の言葉を送り固い握手を交わしました。最後に4年次生全員で医師の職業倫理を示した「ヒポクラテスの誓い」を唱和し、医学の道を進む決意を新たにしました。



～兵庫医科大学の発展に貢献した3名の主任教授による退職講演～ 「平成28年度退職記念講演会」を開催

平成28年度末で退職した中野孝司主任教授(内科学 呼吸器・RCU科)、宮本正喜主任教授(医療情報学)、廣田省三主任教授(放射線医学)の退職記念講演会を、平成29年3月15日に3-1講義室にて実施しました。

講演会には、教職員や学生、名誉教授など多くの方々が出席し、長年にわたり教育・研究・診療に尽力した3名の主任教授の講演を興味深く聴講しました。また、講演終了後には、教職員並びに在学生の代表から感謝の気持ちを込めて花束が贈呈されました。



■平成28年度退職記念講演タイトル

「中皮腫の病態解明と治療法の開発に取り組んでー38年の成果と今後の展望ー」
中野 孝司 主任教授 (内科学 呼吸器・RCU科)

「オーダリングシステムから電子カルテシステムへ」
宮本 正喜 主任教授 (医療情報学)

「臨床放射線医学の学徒としての40年ー画像診断、IVRの進歩とともにー」
廣田 省三 主任教授 (放射線医学)



中野主任教授



宮本主任教授



廣田主任教授



創立以来40回目となる「兵庫医科大学 卒業式」を挙行 ～輩出した卒業生の総数が4,000名を突破～

平成29年3月2日、「平成28年度 兵庫医科大学 学位授与式」(第40回卒業式)を挙行し、厳粛な雰囲気の中、男性58名、女性40名、計98名の卒業生に対して、野口学長から学位記が授与されました。続いて、創設者の森村茂樹先生にちなんだ「森村賞」や「理事長特別賞」の表彰も行われ、教員や多くの保護者が見守る中、40期生の功績が称えられました。

なお、このたび卒業した40期生を含め、兵庫医科大学から社会へ羽ばたいた卒業生の総数は4,076名になりました。社会へ羽ばたいたすべての卒業生の皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



一人ひとりに野口学長から学位記を授与



卒業生による答辞



これから社会へ羽ばたく40期生



最も成績の優秀な学生に贈られる森村賞



部活動で功績を挙げた学生に贈られる課外活動功労賞



西医体で初優勝したサッカー部を称えた理事長特別賞



～3学部302名と大学院20名が胸を張って卒業～ 「平成28年度 兵庫医療大学 学位授与式」を挙行

平成29年3月15日、ポートピアホテルにて「平成28年度 兵庫医療大学学位授与式」を執り行い、薬学部118名、看護学部93名、リハビリテーション学部理学療法学科40名、作業療法学科51名の計302名と、大学院薬学研究科2名、看護学研究科9名、医療科学研究科9名の計20名が卒業しました。

馬場学長の式辞では、社会の中で他者と協働し、日々「人間力」を高めてほしい、という激励の言葉がかけられました。

また、各学科で特に優秀な学業成績を修めた卒業生に「学長賞」が、課外活動において特に顕著な成果をあげた卒業生に「課外活動功労賞」が贈られました。



馬場学長 式辞 (一部抜粋)

ここに集われた薬学部、看護学部、リハビリテーション学部、計302名の学部卒業生、大学院薬学研究科博士課程、看護学研究科修士課程、医療科学研究科修士課程、計20名の大学院修了生の皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。これまでの学生生活の中で、皆さんは専門知識やスキルを習得し医療専門職者としての基礎を学ぶことができました。皆さんがこれから従事する医療の世界は、本学で学んできたチーム医療教育の根幹の考え方である、人の持つ多様性を理解し、共感するなかで他者と協働していくことが求められる世界です。そのためにも、専門性だけでなく、知性、理性、そして豊かな人間性に裏付けられた「人間力」を高めていってください。皆さん一人ひとりが夢の実現を目指し、悔いのない人生を送られることを祈って、祝辞とさせていただきます。



各学科の成績最優秀者に贈られる「学長賞」受賞者



課外活動に貢献した学生に贈られる「課外活動功労賞」受賞者

■2/6(月)

関西公立私立医科大学・医学部連合シンポジウムが開催され、野口学長が兵庫医科大学の先端研究について発表しました。



■2/21(火)

兵庫県の将来を担う若手人材の活躍の場を確保するため、兵庫医療大学は、就職支援に関する連携協定を兵庫県と締結しました。



■3/10(金)

「平成28年度臨床研修修了式」にて、兵庫医科大学病院で臨床研修を修了した医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士に修了証が授与されました。



■3/10(金)

ポートアイランドにキャンパスを置く5大学が連携協力に関する協定を締結し、兵庫医療大学の馬場学長が調印しました。





～抽選によって選ばれた高校生176名が来学～ 「3学部合同 1日体験入学」を開催

平成29年3月20日、高校新2・3年生を対象に「3学部合同 1日体験入学」を実施しました。事前申し込みで定員を上回る応募があり、抽選によって選ばれた高校生176名が参加し、朝から夕方まで大学生活を模擬体験しました。

全学部合同 プログラム

午前中は、全学部合同でオープニングガイダンス、キャンパスツアーを実施。その後、6人組に分かれて「チームビルディングゲーム」を行い、兵庫医療大学の特徴である「チーム医療」を体感してもらいました。

学部学科別 体験実習

在学生スタッフや教員と一緒に昼食をとった後の午後は、各自の志望学科で実習。設備の整った実習室で、より専門的に学びました。

薬学部



「8つの研究室に分かれて、実験しよう！」

看護学部



「看護の力で、心と身体を温めよう！～手浴とハンドマッサージ～」

リハビリテーション学部 理学療法学科



「理学療法士への第一歩 ～身体機能のチェックと医学的観点から実施するストレッチ～」

リハビリテーション学部 作業療法学科



「作業療法への入門 ～コミュニケーションと療法体験！～」



患者さんを包括的に支援する 「医療支援センター」を開設

患者さんの外来受診、入院、退院（転院）、在宅ケアにいたるまで切れ目のないサービスを提供するため、平成29年4月、1号館1階に外来支援、入院支援、退院支援、病床調整、地域調整の機能を統合した「医療支援センター」を設置しました。

これまでと同様に、医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルスタッフ、事務員など、多職種が連携する組織として、患者さんをサポートします。

同センター設置の患者さんへのメリットは、相談の窓口が一本化されたことにより、センターに行けば患者さんは療養上の相談が何でもできることです。



～地域医療に貢献するために～ 平成29年度以降も、現行の 土曜・祝日の診療体制を継続

兵庫医科大学病院では、地域医療に貢献するため、平成28年10月より土曜日、創立記念日等の診療体制を見直しました。平成29年度以降も、この診療体制を継続いたします。平成29年4月以降の休診日は下記のとおりです。

平成28年9月30日までの休診日

- ・日曜日
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・すべての祝日
- ・創立記念日
- ・第2・4土曜日

平成28年10月1日からの休診日

- ・日曜日
- ・祝日（「成人の日」「敬老の日」を除く）
- ・第2・4・5土曜日
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

「成人の日」「敬老の日」「創立記念日（11月22日）」は開院日になりました

なお、この診療体制の変更に伴って教職員の就業規則を改正したため、西宮キャンパスの教職員においては、創立記念日（11月22日）が出勤日に、第5土曜日が休日に変更となります。



薬物療法や栄養療法などの一般的な治療が難しい 「炎症性腸疾患」の手術数が3,000例に到達

兵庫医科大学病院における「炎症性腸疾患（IBD）」の手術数が平成28年10月で3,000例に到達しました。これは、国内の病院でトップクラスを誇る手術件数です。

また、平成28年12月5日には、炎症性腸疾患の診察を行う「IBDセンター」の外來診療室の数を2室から3室に増室。炎症性腸疾患に関連する「ストーマ外来」も新たに設置し、病気に苦しむ患者さんを1人でも早く治療できるよう、受け入れ態勢を強化しています。



【担当医の手術に関する心構え】
炎症性腸疾患外科 主任教授 池内浩基

炎症性腸疾患は、手術のタイミングを誤ると周術期死亡に至るケースも存在します。一方で多くの患者さんは内科的治療を希望されるため、「本当に手術が必要かどうか」の判断は慎重にしています。

また、手術時に私が常に心に留めていることは「決して無理をしない」ことです。状態を正確に判断し、重篤な症例では分割手術を選択します。それが、難病に対する手術の基本姿勢だと考えています。



従来の2部署を統合して「医療人育成研修センター」を新設

医学、医療の進歩及び社会の変化に即応するため、学校法人兵庫医科大学は従前の卒後臨床研修センターと医療人育成センターを統合し、平成29年4月1日に「医療人育成研修センター」（鈴木 敬一郎センター長）を新たに設置しました。

センターの使命は、「兵庫医科大学と兵庫医療大学の連携による学生の臨床実習教育」「臨床研修医とレジデントの初期・後期研修の充実による卒前・卒後教育の一貫した教育体制の構築」および「本法人及び地域の医療専門職者等の多職種連携・キャリア支援」です。これらを念頭に、医療人育成研修センターが統括して教育・研修を実施することにより、体系的・一元的な医療人育成を目指します。



看護師の医療行為の幅を広げる特定行為研修課程を開講

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて在宅医療などをさらに推進するため、厚生労働省では、医師または歯科医師の判断を待たずに、手順書によって一定の診療の補助（特定行為）を行う看護師を計画的に養成する「特定行為に係る看護師の研修制度」を創設しました。

この方針に伴い、学校法人兵庫医科大学は看護師の特定行為研修を行う指定研修機関として厚生労働省に指定され、平成29年4月から学校法人兵庫医科大学医療人育成研修センター管理・運営のもと、「看護師特定行為研修課程」を新たに開講します。全国で21施設が当該研修を実施していますが、兵庫県内で指定を受けて研修を行う機関は本法人が初めてです。



■3/15(水)

神戸市と兵庫医療大学は、大規模災害発生時に医薬品等の集積・配送拠点として大学施設を一時的に利用いただく協定を締結しました。



■3/18(土)

踏切遮断による道路の交通渋滞緩和を目的とした、阪神鳴尾駅付近の線路の高架化が完了。線路切り替え式典が催され、新家理事長などが出席しました。



■3/24(金)

兵庫医科大学にて「臨床研究・研究者倫理合同講習会」を実施し、京都大学 森田智視教授に倫理指針を踏まえてご講演いただきました。



■3/29(水)

「平成28年度学校法人兵庫医科大学医療人育成センター認定看護師教育課程修了式」を執り行い、研修生30名が修了しました。





「平成29年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式」を挙

平成29年4月4日、桜の開花が始まり春の訪れを感じるような穏やかな陽気に包まれる中、平成記念会館において「平成29年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式」を執り行い、医学部生112名、大学院生43名が入学しました。

式ではまず、学長から新入生に対してお祝いの言葉が贈られました。その後、医学部生と大学院生それぞれの代表が入学宣誓を行い、最後に全員で校歌を斉唱し、新入生は兵庫医科大学生としての第一歩を踏み出しました。



平成記念会館で執り行った「平成29年度 兵庫医科大学 学部・大学院合同入学式」の模様



大いなる志を胸に入学宣誓を行う医学部生代表

野口学長 式辞 (一部抜粋)

兵庫医科大学および大学院に入学された皆さん、本日は誠にありがとうございます。これから本学での出会いを大切にしてください。出会いは自分を成長させ、そして人生を豊かにしてくれます。出会いに運命的な出会いなどというものはありません。出会った後、お互いが相手に信頼と敬意を持って接する、長い日々の営みの積み重ねが絆を生み、その結果、かけがえのない友や恩師といった存在が生まれるのです。

～中略～

入学式とは「未来への覚悟を表明する場」です。皆さんは、医学・医療のプロになるために、今日から一人ひとりがこの学舎で、知識の獲得や経験、そして挫折を通じて、医学を志す人間としての価値観・人間性を培っていくのです。我々と一緒に兵庫医科大学を発展させ、誇りある母校を共に作っていきましょう。



「平成29年度 兵庫医療大学入学式」を挙

平成29年4月5日、神戸ポートピアホテルにて、「平成29年度 兵庫医療大学入学式」を執り行い、薬学部182名、看護学部123名、リハビリテーション学部理学療法学科48名、作業療法学科43名の合計396名が入学。また、大学院の入学式も併せて行われ、薬学研究科1名、看護学研究科4名、医療科学研究科9名がそれぞれ入学しました。式では新入生代表が入学宣誓を行い、兵庫医療大学への入学の決意を新たにしました。



馬場学長 式辞 (一部抜粋)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお喜びを申し上げます。

3月の卒業式では、本学から新たに322名の学士、修士、博士を社会に送り出しました。そして今日、私たちは皆さんを新たな仲間として迎え入れ、兵庫医療大学の次なる歴史を刻むバトンは、皆さんに引き継がれました。

これからの大学生活では、医療としての専門知識を学ぶことで、医療の国家資格を取得することはできますが、医療職はより高い専門性と豊かな人間性が備わってこそその職業です。そのために大学では人間力の涵養と学術的専門性を極めることを念頭に、自己研鑽してください。

最後に、開学10周年を迎えた今、皆さんと共に一丸となって本学の新たな歴史をつくりあげていくことをここに宣言し、式辞といたします。



3/30(木)

太城病院長と平川看護部長の退任記念講演会を実施。ささやま医療センターの多くの教職員が出席し、講演に耳を傾けました。



4/6(木)

平成29年度に兵庫医科大学「研究医コース」へ配属となった3年次生3名と4年次生5名がオリエンテーションを受けました。



各種報告 <兵庫医科大学>

平成28年度 兵庫医科大学 国家試験結果

第111回 医師国家試験 (試験日:平成29年2月11日~13日、合格発表:平成29年3月17日)

区分	6年制新卒			6年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
兵庫医科大学	98	87	88.8%	5	5	100.0%
【参考】本学 昨年度	103	98	95.1%	2	2	100.0%
全国	8,828	8,104	91.8%	9,618	8,533	88.7%

平成28年度 兵庫医科大学 卒業生進路実績

進路一覧

大阪医科大学附属病院
大阪警察病院
大阪市立総合医療センター
大阪市立大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
加古川中央市民病院
鹿児島市立病院
川崎病院
関西医科大学附属病院
関西電力病院
北九州市立医療センター
北九州総合病院
九州大学病院
京都大学医学部附属病院
近畿大学医学部奈良病院
久留米大学病院
公益財団法人星総合病院
神戸大学医学部附属病院
公立学校共済組合近畿中央病院
公立八鹿病院
済生会福岡総合病院
滋賀医科大学医学部附属病院
慈恵医科大学附属病院(本院)
社会医療法人愛仁会高槻病院
社会医療法人愛仁会千船病院
順天堂大学医学部附属浦安病院
市立芦屋病院

市立伊丹病院
新古賀病院
製鉄記念広畑病院
宝塚市立病院
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター
地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
東京女子医科大学病院
徳島健生病院
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
名古屋市立西部医療センター
奈良県立医科大学病院
西脇市立西脇病院
兵庫医科大学病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
兵庫県立淡路医療センター
福島県立医科大学附属病院
府中病院
松山赤十字病院
明和病院
和歌山県立医科大学附属病院
長崎みなとメディカルセンター市民病院

平成29年度 兵庫医科大学 入学試験結果 (定員 112名)

<推薦入試>

入試種別	推薦	
	一般公募制	地域指定制
募集人員	約10名(※)	5名以内
志願者	73名	32名
受験者	72名	32名
合格者数	10名	5名

(※)特別指定校からの1名を含む

<一般入試、センター試験利用入試>

入試種別	一般	センター利用	
		前期	後期
募集人員	約79名	約15名	約3名
志願者	1,973名	678名	42名
受験者	1,802名	675名	41名
1次合格者数	420名	288名	28名
正規合格者数	80名	38名	3名